

1 出願資格

本校工業科の推薦選抜に出願することのできる者は、次の(1)から(3)までの全ての条件及び「2 推薦基準」を満たし、中学校長（義務教育学校及び中等教育学校の校長を含む。以下同じ。）の推薦を得た者とする。

- (1) 令和6年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者、又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者。
- (2) 本校工業科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (3) 人物及び学習成績が優れていること。

2 推薦基準

[工業科]

- (1) 「㉞ 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校工業科の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 運動の分野

- (ア) 県内6地区大会で入賞した者。ただし、団体的競技の場合は補欠を含む。
- (イ) 新体力テストAの取得者。（当該基準の記録を有する者。）
- (ウ) 柔道・剣道・弓道は、1級以上の資格を有する者。
- (エ) 水泳・陸上競技において、標準記録以上の記録に達した者。
- (オ) 部活動においてキャプテン等として活躍し、優れた指導力を発揮した者。
- (カ) 部活動において3年間努力し、部活動の充実、発展に寄与した者。
- (キ) その他、上記の事項に準ずる者。（部活動については、大会・行事等が中止又は延期となり、実績等を挙げるのが困難なときは、成果獲得に向けた努力のプロセスを含むとする。）

イ 文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）の分野

- (ア) 書道展、美術展、音楽会等の競技大会等に応募し、優秀な成績を修めた者。
- (イ) 奉仕活動等で長期間継続して活躍し、リーダーとして顕著な成果をあげた者。
- (ウ) 生徒会役員、ルーム長として活躍し、優れた指導力を発揮した者。
- (エ) 諸検定で上級資格を取得した者（英検3級以上等）。
- (オ) 部活動において3年間努力し、文化祭等で顕著な活動が認められた者。
- (カ) 「総合的な学習の時間」において顕著な成果をあげた者。
- (キ) その他、上記の事項に準ずる者。（部活動については、大会・行事等が中止又は延期となり、実績等を挙げるのが困難なときは、成果獲得に向けた努力のプロセスを含むとする。）

- (2) 「㉟ 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校工業科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「令和6年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。

- (3) 「㊱ 人物が優れており、『調査書情報』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」として、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 学習意欲があり、ものづくりに関わる科学技術分野への関心が特に高い者。

イ 学習の基礎・基本を身につけていて、探究心が旺盛で、入学後もより高度な学習に取り組む意欲のある者。

- (4) 本校の推薦選抜において特に重視すること。

ア 学習にまじめに取り組むとともに、部活動にも積極的に参加し、活動する意欲のある者。

イ 様々な技術に関心があり、ものづくりが好きで、実験・実習に意欲的に取り組むことができる者。

3 合格者数

推薦選抜の合格者は、本校工業科の募集人員の30%程度から45%程度とする。

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。

4 出願の手続き

出願に当たっては、「出願情報」等を、次の期間に愛知県公立高等学校入学者選抜Web出願システムにより登録する。

手続きは、令和6年1月25日（木）の9時から同年2月1日（木）の15時までに行う。

5 面接の実施期日

令和6年2月6日（火）

なお、集団面接で行う。

6 合格発表の日時及び方法

令和6年2月8日（木） 12時

愛知県公立高等学校入学者選抜Web出願システムのマイページで発表する。

なお、掲示による合格者の発表も行う。

7 検査当日の留意事項及び合格者登校日の日程等

(1) 検査当日の留意事項については、令和6年2月2日（金）までに、本校ウェブページに掲載するので、志願者は必ず確認すること。

(2) 合格者登校日の日程等については、令和6年3月8日（金）までに、本校ウェブページに掲載するので、合格者は必ず確認すること。

(URL : <https://toyokawa-te.aichi-c.ed.jp/>)

8 その他

(1) 小学科の選択について

第2学年進級時に、各自の進路・適性により小学科（ロボット工学科、機械科、電気科、情報デザイン科）を選択する。なお、情報デザイン科は生活コースを含む。

(2) 各学科の概要と特色

	ねらい（主な学習内容）
ロボット工学科	ロボット工学科では、機械加工、電子回路、自動制御、数値制御工作機械、組込みマイコンおよびプログラミングなどを学び、電子制御機器の基礎知識と制御技術を習得します。そして、今後、様々な産業で導入が進むロボットの設計・製造・制御などを身に付けた技術者を目指します。
機械科	機械科では、機械工作や機械設計、製図などを通してものづくりの基本を学びます。また、各種工作機械を使った金属加工や溶接、自動制御など実習を通して、アイデアを形にできる技術者を目指します。
電気科	電気科では、電気の基礎となる理論、電気計測の仕方、自動制御などを学び、電気を安全に使うための電力技術や電気機器、さらに、電子回路やコンピュータ技術を習得し、電気を安全に扱える技術者を目指します。
情報デザイン科	情報デザイン科では、電子回路、ネットワーク(通信)、プログラミング、デジタルコンテンツデザイン、コンピュータシステム技術を習得し、情報化社会へ対応できる力を持った技術者を目指します。また、「生活コース」を設置し、企業で活躍できる女性人材や男女共同参画を促進する人材を育成します。

(3) 問合せ先

愛知県立豊川工科高等学校 教務部

所在地 〒442-8573 愛知県豊川市新道町1-3

電話 (0533) 85-4425